

料金別納郵便



萩 岡田 泰 陶展

令和6年7月17日(水)~22日(月) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日22日は午後5時まで)

作家在廊日：7月17日(水)~20日(土)

陶歴 昭和51年 山口県萩市に生まれる
平成14年 東京造形大学 美術学部 彫刻科 卒業
平成21年 日本伝統工芸展 (以後14回入選)
平成25年 菊池ピエンナーレ奨励賞
日本伝統工芸展60回記念「工芸からKOGEIへ」展出品
平成27年 日本陶芸展 優秀作品賞・毎日新聞社賞
平成29年 エネルギー美術賞、山口県芸術文化振興奨励賞
萩傳統一若手作家六人展 (以後3回開催/柿傳ギャラリー)
令和元年 現在形の陶芸 萩大賞展V 優秀賞
令和3年 「萩の新潮」萩・岡田窯 岡田泰 展 (緑ヶ丘美術館/奈良県)
令和5年 伝統文化ボーラ賞 奨励賞
令和6年 パラミタ陶芸大賞展 (パラミタミュージアム/三重県)
父 岡田 裕 (山口県指定無形文化財 萩焼保持者) に師事

小暑の候から大暑の候に移ろう文月。萩焼の岡田泰さんの個展を開催致します。泰さんは、江戸時代から二百年の歴史を紡ぐ岡田窯の後嗣として、日々作陶に勤しみ、お父様である八代裕さんを支えています。

彼の作品は大きく分けて二つに大別されます。一つは、これまでの萩焼にはない、彼が独自に作りあげた「淡青釉」と呼ばれるものです。萩から臨む日本海の青色に魅せられたという薄青の美しい葉がかかったもので、茶碗、花入、水指、食器、酒器など多彩な作品がございます。もう一つは、いわゆる古来からの萩焼手の歴史に則る作品群です。どちらも柔らかい上がりの釉調が、端正な佇まいと相まって、愛陶家の皆様からご好評を頂いております。

弊廊で四年振りとなる本展では、お得意の茶陶を中心に、暑い夏には好適な涼しさを演出する淡青釉や、灰かたつぷり被った白萩釉など、60余点の最新作を発表いたします。ご清覧を頂ければ嬉しゅうございます。

店主 安田尚史

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



